

# 同意書

名古屋セントラル病院  
泌尿器科

診断名：前立腺肥大症

手術名：経尿道的前立腺レーザー蒸散術(PVP)

排尿障害の原因として前立腺肥大症を認めますので、上記手術を行います。

本手術は高出力LBOレーザーを用いて肥大した前立腺腺腫を蒸散し、前立腺部尿道を拡張して排尿状態を改善する手術です。本手術は、従来より日本国内で行われてきた経尿道的前立腺手術(TUR-P)に比べて「出血が少ない」「術後の排尿痛がほとんどない」「患部の腫れによる排尿障害の出現が少ない」という特徴があります。術中に起こりえる合併症として膀胱へのレーザー照射による「粘膜障害」や、前立腺深部への過度のレーザー照射による「穿孔(穴が開く)」が起こり得ますが、術者はこのような合併症が起こらないよう十分に留意します。

術後の一過性の症状として「血尿」や「排尿障害」、「尿失禁」、「排尿痛」が起こることがありますが、通常は1ヶ月ほどの間に自然に軽快します。なお術後出血が強い場合(血の塊が多量に出る)や、排尿困難が強い場合(尿意があってもほとんど出ない)には尿道カテーテルを一時的に再留置することがあります。また、まれに38度以上の高熱を伴った感染症等が起こることがあり、点滴による抗生剤治療を要することがあります。本手術後に男性機能の低下(いわゆるインポテンツです)が起こることは報告されておりませんが、射精液が膀胱内に排出される「逆行性射精」が生じる可能性が高く、これは投薬や他の処置でも改善するものではありません。

本手術を受けられた患者様の治療成績(血液データを含む)を学会および研究論文に使用する場合がありますが、そのような際には個人情報の保護に十分に留意し、患者様を特定できるような情報は絶対に提示いたしません。